

取扱説明書

ADB-ST・ADB-PT

エアハン用ドレトラップ

お客様へ

- 設置は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問合せください。

施工工事業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

1. はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は床置型の大型空調機に設置するドレトラップです。
それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。
通告	取り扱いを誤った場合、物的損害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

注意	●作業時は必ず作業用手袋・ヘルメットなどを着用してください。
通告	●本製品に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。 ●火気に近づけたり、高温になる場所での保管・使用はしないでください。火災や故障の原因となります。 ●本製品の上に乗らないでください。破損や故障の原因となります。

お願い ※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

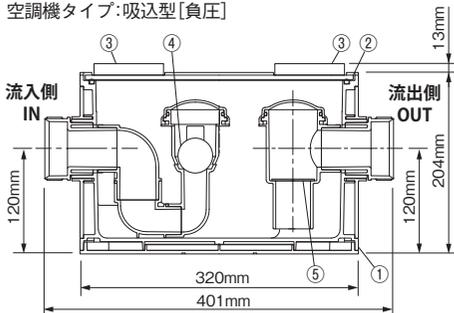
- 通常時はフタをつけて使用してください。
- 本体の耐熱温度は60℃です。
- 清掃時にアセトン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。故障の原因となります。
- 法令に従って保守・点検・清掃作業を行ってください。
- 本製品は臭気および排水の逆流を完全に防止することはできません。

2. 種類と選定

- 本製品には吸込型と押込型の2タイプがあります。設置する空調機のタイプ(吸込型[負圧]／押込型[正圧])に応じて選定します。取り扱う空調機の仕様をよく確認のうえ、トラップのタイプを選定してください。
- 本製品は吸込型、押込型共に断熱構造となっており結露防止性能があります。
※結露防止性能は内部滞留水温が10℃の時、露点気温度/湿度が30℃/70%が目安です。この条件以上が予想される環境下で使用される場合は別途結露防止対策を施してください。
- 配管の接続口径は、6種類あります。

吸込型 ADB-ST エアハン吸込型用ドレトラップ

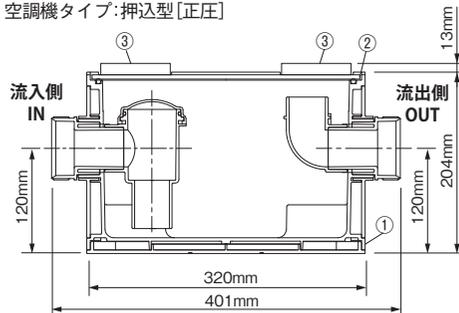
空調機タイプ:吸込型[負圧]



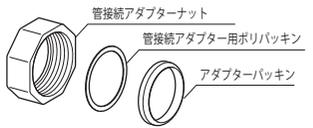
- ① 本体 ② フタ ③ レール ④ 逆止球 ⑤ 発泡板

押込型 ADB-PT エアハン押込型用ドレトラップ

空調機タイプ:押込型[正圧]



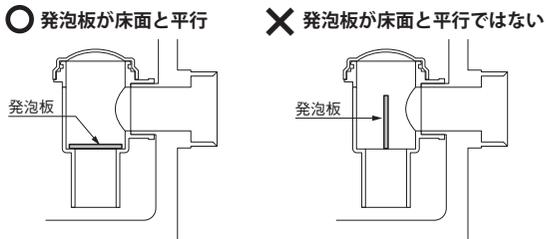
- ① 本体 ② フタ ③ レール

関連部材 ADB-K 接続キット(別売品)				
型番	ADB-K30	ADB-K32	ADB-K40	ADB-K50
品名	30A接続キット	32A接続キット	40A接続キット	50A接続キット
適合配管	VP30	SGP32A	VP40、SGP40A	VP50、SGP50A
各部名称				
入数	1セット(各2個)			

3. 施工に関する注意事項

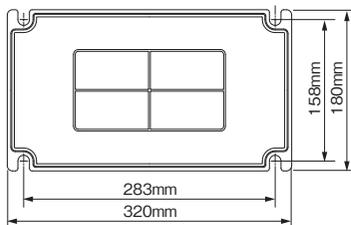
- 施工する前に流入側(IN)、流出側(OUT)配管(塩ビ管、鋼管)のカット面のバリを必ず処理してください。水漏れの原因となります。
- 流入・流出の向きに注意して本体を水平な床面に設置してください。(本体に貼られているラベルで取り付け方向の確認ができます。)
- 配管を接続する場合は、配管メーカーの注意事項に従ってください。
- ネジ部、ナットにオイル、グリースなどの鉱物油溶剤を含む潤滑剤、シーリング材などは使用しないでください。
- 吸込型を設置した際、発泡板が適切な向きになっているか確認してください。

吸込型の場合



- 本体を固定する場合は床面に下穴を開け、M10またはM12ボルトを使用して固定してください。

ボルト取り付け位置 (底面図)



- エアハン用ドレトラップの二次側配管にはUトラップなどを取り付けしないでください。(二重トラップの禁止。)
- 排水立て管には適切な通気を設けてください。
- 注意シールを目につきやすい場所に貼り付けてください。

4. 施工手順

1. トラップ設置時の必要落差について

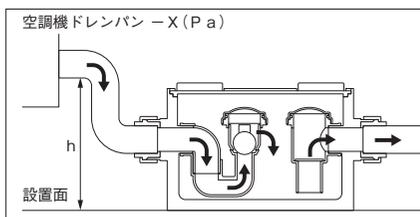
設置時は、空調機運転時に発生するドレン口静圧に応じた落差が必要です。
この落差が不適当な場合はドレン排水が滞って上手く排出されませんので注意してください。
以下の計算式より必要落差を算出してください。

※ ドレン口静圧 = 全静圧 - 機外静圧 ÷ 2
ドレン口静圧が正確に算出されている場合はその数値を用いてください。

● 吸込型

ドレン口静圧が -3000Pa ~ 0Pa までの機内が負圧となる空調機に使用します。

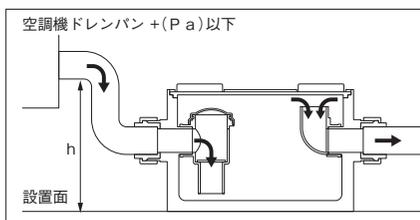
吸込型の h 寸法 (必要落差) の求め方
$$h = X [Pa] \div 9.8 + 110\text{mm}$$



● 押込型

ドレン口静圧が 0Pa ~ +1500Pa までの機内が正圧となる空調機に使用します。

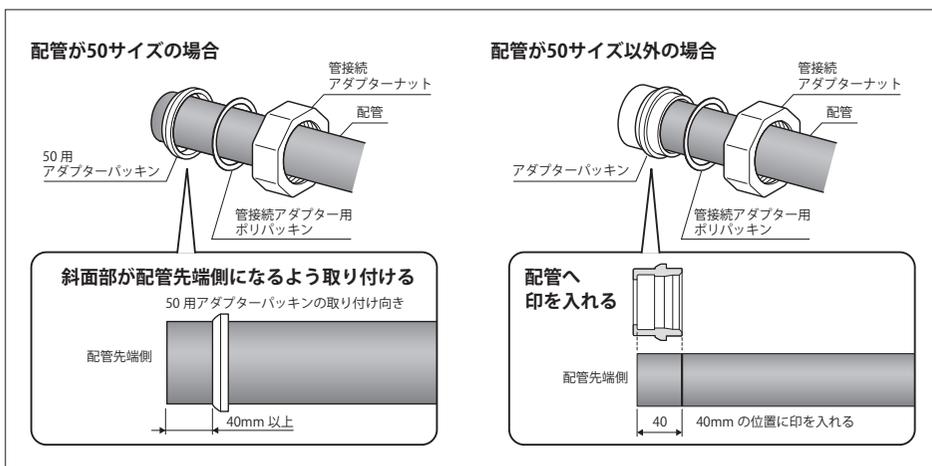
押込型の h 寸法 (必要落差) について
$$h = 180\text{mm以上}$$



2. 接続キット(別売品)の取り付け

配管(塩ビ管/鋼管)に接続キットを取り付けます。
管接続アダプターナット、管接続アダプター用ポリパッキン、各アダプターパッキンの順ではめ込んでください。

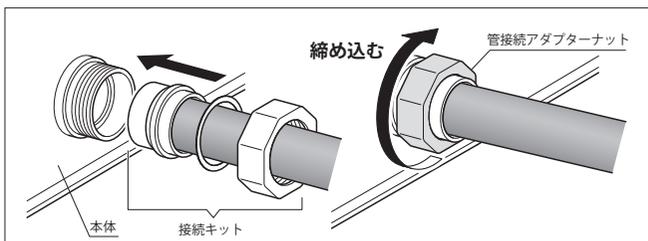
※ 50用アダプターパッキンを使用する場合は、取り付け方向に気を付けてください。
※ VP30用、SGP32用、40用アダプターパッキンを使用する場合は、差し込み前に配管先端から40mmの位置に印を入れて差し込みが確実にに行われているか確認してください。
アダプターパッキンの嵌合が固い場合は、アダプターパッキンの内径部を水で濡らすと軽減されます。
必要であればゴムハンマーなどの製品に傷がつきにくい工具を用いて施工してください。



3.配管の接続

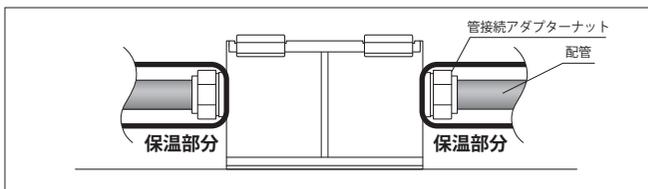
接続キットを取り付けた配管を水平に保ちながら本体に差し込み、管接続アダプターナットを適正トルク(8N・m)で締め込んでください。

④ バックギンが真っすぐにセットされていることを確認してください。



4.保温処理

保温処理の際は、管接続アダプターナットにも保温材を取り付けてください。



5.通水テスト

施工後、通水テストを行い、管接続箇所からの水漏れが無いことを確認してください。

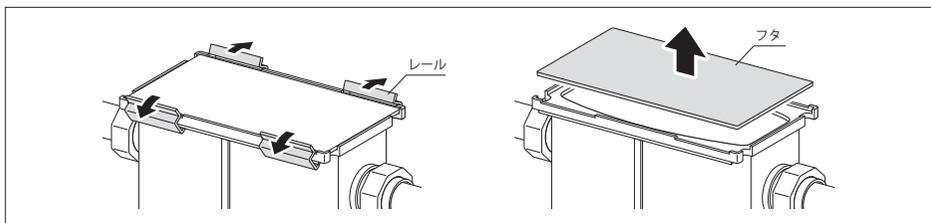
※空調機作動時には、必ずエアハン用ドレントラップの封水を満水状態にしてください。

空調機を使わない時期は水の蒸発を防ぐ為、定期的に本体へ水を補給してください。

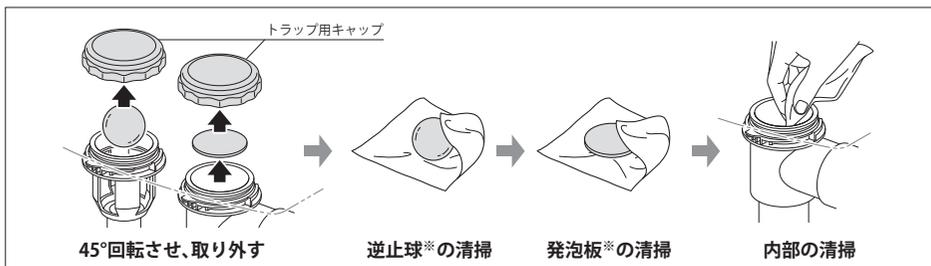
5.清掃・点検手順

④ 機器が稼働している状況での清掃・点検はドレン口静圧による吹き出しに注意してください。

1. レール(4箇所)を全て取り外し、フタを取り外してください。



2. トラップ用キャップを45°回転させて取り外し、逆止球※、発泡板※、内部の汚れを清掃してください。(※は吸込型のみ)



3. 本体底部に溜まったゴミの除去を行ってください。

4. 清掃後は、清掃前と同じ状態に戻してください。

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<https://www.INABA-DENKO.com> (最新情報や技術資料など)

<https://www.INABA-DENKO.com/ja/network> (営業窓口)



INABA DENKO
動画チャンネルはこちら ▶▶

